



ル 4
6318



須磨浦古跡記

全

汝鷹の浦より志高道のり

二	三
西宮、	明石、
七	六
大坂、	長池、
十二	八
系、	加古川、
二十	十二
系良、	徳島山、
二十	卅
いせ、	同下、
五十	三十八
江戸、	出雲大社、
百	七十三
	九州長湯、
	百七十六



大坂慶浦と月の名所より志高まで、この長池、明石、加古川、徳島山、同下、出雲大社、九州長湯、

○行平月見松

行平中興言、この松は、月見の松、

○行平きぬけ松

行平、この松は、きぬけ松、

○旗別松

旗別の浦、この松は、旗別松、

○光徳氏の墓

ませうたより源光寺境内なり

○若木ノ様

此寺のあり源光の墓は日なりはわくわくして
其木の様子のうさぎとて其のまじりたるらわ

まじりつ川のまじりや一申れ

「河」の傍に大宮人の墓にまじりては、まじりては

「様」の傍にまじりては、まじりては

「河」の傍にまじりては、まじりては

○頂ノ関

ちまがり河のた右の墓なり

「関」の傍にまじりては、まじりては

「頂」の傍にまじりては、まじりては

「河」の傍にまじりては、まじりては

○頂ノ魔寺

高野山にて、高野山にて、高野山にて

とせし山福祥寺とて、高野山にて、高野山にて

○源氏孫孫のゆかり

赤坂の源氏孫孫のゆかり

○業師堂

和政の建立正月八日又鬼地なり

○掃帚社

いしつゝの二月己の日に社あり地味なり

「社」の傍にまじりては、まじりては

「掃」の傍にまじりては、まじりては

「帚」の傍にまじりては、まじりては

○村上寺

此寺のあり源光の墓は日なりはわくわくして

○泉の井 石塔のふれ落ふあり

○熊谷平山 一二のうけを知りて横州恒危村のまうえをま
し西川を大子一西恒危を欄子にてをる

三三疎を城とせしこし西のまより西をすてカ古跡ハ取まみれ
こもを西を示記ふりてみそとましけまをいすむの備り
まのこの備りてふ誠光つる人のあふ記しつゆ

延享三寅年正月開板
文久四年二月再版

横州須磨浦一ノ谷



